

青森 ~ 秋田

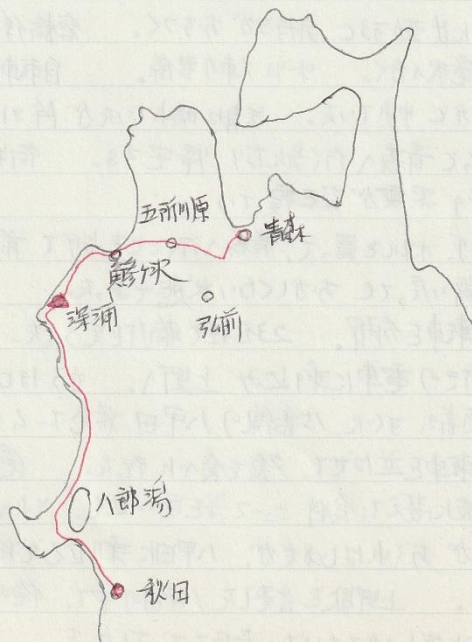
1987年 5月2日, 3日, 4日 (1泊3日)

費用 40,560-

走行距離 223 km

装備	カッパ	かろ
ハンリ	2	保健証
Tシャツ	2	YH会員証
グツ下	3	ハナガミ
タオル	2	ハミガキ
ツヤパー	1	
ズボン	1	
レックウエズ上下	1	

5月2日 (電) 前橋 → 青森
5月3日 青森 → ~~青森~~ 深浦
5月4日 深浦 → 秋田 (電) → 前橋



** チャリンコ旅日記 No.12 **
** Resistance Of My Mind 19911115 **

【 1987年 5/2日 から 4日 青森市 から 秋田市 223Km 】

【5月2日(土)】 晴 走行距離 0Km
(電車) 前橋駅 → 東京 → 青森市 走行時間 0分

15:38 前橋駅 着 ¥13000-
16:43 出る
18:58 上野駅 着 食料 ¥2180-
21:18 出る 急行八甲田

ゴールデンウィークは、例年だと出勤になる事が多く、ここ3、4年旅行をした事がない。そのため、今回も計画は立てなかった。ただ、連休2週間位前になると東北へ行く気持ちになっていた。出発予定は5/1日。会社の運動会の日で、夕方出発するには都合が良い。当日は、雨が昼頃から降り出し運動会は早々に終わったが、私は帰宅してからも行こうか行くまいかと悩み、結局家にいた。情けない自分に悩みながら、5月の連休もこれで終わりだと思っていた。

翌2日は朝から晴れていた。今頃は、青森にいる筈なのに。今、俺は安全な家にいる。午前中2時間、会社に出勤して事務処理をする。休日なのに何人か出勤していた。みんな、休みを持て余しているのかも知れない。休日出勤をしていると、何故か気持ちが落ち着く。10時過ぎに帰宅して行きつけの自転車屋へ行って自転車の整備をする。午後1時頃まで自転車をいじりながら、青森への旅立ちを悩んでいた。晴れていた空は、いつのまにか曇出し風も出てきていた。このままでは、せっかくの連休が台無しになってしまう。ようやく出発する気になって、すぐに帰宅して準備をして午後3時頃家を出た。しかし、前橋駅に自転車で向かいながらも、いつ家に舞い戻っても不思議でない気持ちだった。

駅の脇で、30分程で自転車の袋詰めを終えると、16時43分の上野行きの電車に乗り込んだ。上野駅には、19時頃着き、すぐに15番線の八甲田の始発ホームへ行った。すでに人の列ができている。急行八甲田の出発まで、まだ2時間もある。列の後ろに自転車を置いて、長い長い夜に備えて、食料の買い込みに行った。戻って来ると、ホームには人が溢れていた。それでも、八甲田に乗り込んだときには、なんとか座席に座ることができて良かった。しかし、すぐ横に若い女性とその母親に立たれたら、座席に座っている事が申し訳なくって気が重かった。でも席は譲らなかつた。

【5月3日(日)】 雨

走行距離 80 Km

青森駅 → 鱒ヶ沢町 → 深浦町

走行時間 5時間55分

9:08	青森駅 着	13:38	鱒ヶ沢駅
	雨降り カツ重 ¥480-	47	警察署前 休み ケーキ ¥360-
10:25	青森駅 出る	14:03	出る
11:23	浪岡町 R101に乗る	47	大戸瀬崎 千畳敷
43	休み	15:03	出る
46	出る	16:05	深浦駅 雨止む
12:17	五所川原市役所	20	深浦YH 着 YH ¥1900-
13:07	森田村 休み 強風雨		夕食 ¥1300-
10	出る		

長い夜を耐えて、もうろうとする意識の中で小雨に煙る東北の景色が、俺の心を燃やし始めていた。しかし、青森到着まで5時間近くもある。盛岡、八戸と過ぎる度に乗客は減ったが、まだ立っている人がいる。列車の右手に海があるのに気がついた時、そこは夏泊半島の付け根、浅虫であった。去年の夏に走った時の景色が懐かしかった。

9時過ぎに青森駅に到着したとき、雨が俺を出迎えてくれた。覚悟はしていたが不安だ。駅前に立って雨の空、水溜まりを眺めている……。駅前の日本食堂に入って朝食を取り、10時過ぎに雨の降りしきる青森駅をしかたなくスタートした。

五所川原市を通り日本海側の鱒ヶ沢町に入ると海が見える。カッパを着ていても中はびしょ濡れ。向かい風が強く、海面を白いベールが走ってくる。時折、太陽がうっすらと見えるが雨は降り続けている。鱒ヶ沢の町中で旅館に泊まる事を考えたが、となり町の深浦町まで行く事にする。あと2時間位走らなくてはならない。

風と雨と寒さと戦って、やっとたどり着いた深浦町のYHはお寺だった。ペアレントもお坊さん。彼は、夜、自分でピアノを弾きながら、ユーミンの歌をなん曲も歌ってくれた、不思議なお坊さん。

お寺の門の脇の掲示板に書いてあった言葉。

ゆっくり ゆくことを 恐れるな
立ち止まることだけを 恐れよ

【5月4日(月)】 晴

走行距離 143Km

(自転車) 深浦町 → 能代市 → 秋田市 走行時間 7時間27分

(電車) 秋田市 → 新潟市 → 前橋市

5:35	起床	10:26	八竜町大曲 休み(八郎瀧入り口)
6:20	YH 出る		¥310、コロッケ ¥280-
7:16	陸奥岩崎 パン、ジュース	49	出る
27	出る ¥310-	12:14	天王橋 (八郎瀧出口)
36	一二湖駅	21	休み ジュース ¥100-
59	大間越トンネル	28	出る
8:15	休み 秋田県境	13:47	秋田駅 ラーメン ¥400-
20	出る		電車
9:39	能代駅	17:10	秋田駅 出る 特急いなほ14号
52	休み	20:59	新潟駅 着 ¥11400-
55	出る	22:26	高崎駅 着 みやげ ¥5650-
9:39	能代駅	23:03	前橋駅 着 宅急便 ¥1780-
52	休み		夕食 ¥1160-
54	出る		

6時20分に出発して、日本海沿いに南下する。3時間程で能代市に入り、お腹がすいていたので食堂に入ろうとしたがまだ準備中。しかたなく走り続ける。レストランや食堂を見つける度に立ち止まっていた。ちょうどレストランの明かりが付いていたので中に入ると、ウェイトレスが出てきて「まだ準備中なんですけど。」ああ、また食べられない。お腹がすいてすいてゆっくり走る。1時間程走って、八郎瀧にたどり着き、近くにスーパーを見つけさっそく中に入る。そして、やきそばとコロッケを買って食べていた。この頃には、暖かくなって半袖のシャツで走り出す。小学校の社会の時間に習った八郎瀧を左手に見ながら走る。残念ながら男鹿半島へは行かなかった。

秋田市には、14時に到着。今夜泊まる所を探して自転車で走り廻ったが、なかなか良さそうな所がない。諦めて、駅前のラーメン屋に入って時刻表とにらめっこ。ここから新潟へ出て新幹線で高崎へ行って前橋へ戻れば、なんとか夜中には家に戻れる。それに、宿泊代が浮く。ラーメンを食べると、さっそく宅急便の会社を探して自転車を分解して自宅まで送る様にした。

17時10分、特急いなほ14号に乗り新潟へ向かう。23時03分、前橋到着。秋田から6時間で帰郷する事ができた。

明日、1日休んで6日から仕事。思いきって旅に出て良かった。悩んで、ためらっているよりは、勇気を出して実行した方がいい。たとえ失敗したとしても。



0503

青森駅前



0503

鯉ヶ沢駅前

0503
鯉ヶ沢



0504
深浦町



0504
深浦町
剛崎浜



0504 秋田県境



0504 八郎湯



0503 大戸瀬 千畳敷



0503 大戸瀬 千畳敷

